

# R7年度とうえい健康福祉のまち・ひと・仕事事業 業務完了報告書 (R7年度元気な愛知の市町村づくり補助金事業)

## 1. 事業概要

本事業は、東栄町における医療・福祉分野の人材確保を目的として、学生や求職者等に向けた周知、仕事理解の促進、見学機会の創出、周知資材の制作等を実施したものである。特に、地域の医療・福祉の仕事や働く魅力、地域での暮らしを具体的に伝えることで、応募・採用につながる接点づくりを行った。

## 2. 実施内容および実績

### ① 学校訪問・オンライン説明会

医療・福祉分野への就職を検討する学生等に向けて、学校訪問およびオンライン説明会を実施した。

学校訪問では、学校関係者に対し東栄町における医療・福祉分野の求人や働き方を紹介するとともに、周知用チラシの配布を行った。配布については、計約150校、愛知県内ハローワーク約20箇所対して実施し、合計約3,000枚のチラシを送付・配布した。

実際の訪問は5回実施した。

また、オンライン説明会については、令和7年8月から12月まで月2回、合計8回の開催枠を設けて周知を行った。その結果、実施は1回、参加者は1名であった。参加人数は限定的であったものの、遠方からでも参加可能な導線を整備し、地域外の学生・求職者に向けた情報提供の機会を確保した。

### 実績

- 学校訪問数：5回
- チラシ配布数：約3,000枚
- 周知先学校数：約150校
- オンライン説明会開催枠：8回
- オンライン説明会実施回数：1回
- オンライン説明会参加希望者数：2名
- 参加者数：1名



<大学で機会をいただいた東栄町のお仕事の説明会の様子>

## ② 見学会の実施

地域の医療・福祉の仕事を具体的に知ってもらうため、見学会を実施した。

見学会では、実際の職場環境や働く人の様子に触れてもらうことで、求人票や文章だけでは伝わりにくい現場の雰囲気や仕事の魅力を伝える機会となった。

本年度は1回開催し、2名が参加した。少人数ではあったが、個別に近い形で丁寧に現場を見てもらうことができ、応募検討者の不安軽減や理解促進につながった。

### 実績

- 見学会開催回数：1回
- 見学会参加者数：2名



見学会：町内の複数箇所の施設を見学する様子＞

### ③ 周知資材の作成（動画・チラシ・インタビュー冊子）

医療・福祉分野の仕事の魅力や地域での働き方を分かりやすく伝えるため、周知資材として動画、チラシ、インタビュー冊子を制作した。

動画については10本制作し、職場の雰囲気や仕事内容、働く人の様子等を視覚的に伝えることで、地域で働く具体的なイメージ形成を図った。

また、チラシは2種類作成し、学校や関係先への配布、周知活動に活用した。

あわせて、実際に東栄町の医療・福祉分野で働く方へのインタビューをもとに冊子を作成し、仕事のやりがいや働く背景、地域で暮らしながら働く姿を文章で伝えられるようにした。これにより、求人情報だけでは伝わりにくい現場の魅力や人物像を具体的に発信することができた。

これらの資材は単年度の周知にとどまらず、今後の人材確保活動においても活用可能な基礎資料となった。

#### 実績

- 制作動画本数：10本
- チラシ種類数：2種類
- インタビュー冊子：1式（200部印刷、各事業所、役場配布）



＜動画制作10本（右下の物以外が今回の事業の制作物）＞

＜チラシ＞



<インタビュー冊子データ>



<専用サイトお申し込みページ>

#### ④ 人材確保に関する実績

本事業を通じて、医療・福祉分野に関心を持つ人材との接点を創出し、問い合わせ、応募、採用につながる支援を行った。

問い合わせ件数は27名、応募者数は13名であり、そのうち6名の採用につながった。内訳としては、社会福祉協議会4名、やまゆり荘1名、福祉課1名である。

周知、説明会、見学会、周知資材の制作を組み合わせることで、地域の医療・福祉分野における仕事の認知向上と応募行動の促進に一定の成果が見られた。

#### 実績

- 問い合わせ件数：27名
- 応募者数：13名
- 採用者数：6名
  - 社会福祉協議会：4名

- やまゆり荘：1名
- 福祉課：1名

## ⑤ その他、本事業に係る取組

本事業と並行して、地域内3社に対する採用サポート事業も実施した。

この取組を通じて、求人情報の整理、求職者に伝わる表現の検討、周知方法の工夫等を行い、地域内における採用支援の知見を蓄積した。

こうした実践は、本事業における医療・福祉人材確保の取組にも活かされており、地域特性に応じた発信手法や相談対応の強化につながった。

### 実績

- 地域内採用サポート実施件数：3社

## 3. 成果

本事業では、学校訪問、オンライン説明会、見学会、動画・チラシ等の周知資材制作を通じて、東栄町の医療・福祉分野における仕事の魅力を可視化し、求職者との接点づくりを進めることができた。

特に、学校150校への周知、HWも含むチラシ3,000枚の配布、動画10本の制作などにより、地域外も含めた幅広い層に対して情報発信を行うことができた。

また、問い合わせ27名、応募13名、採用6名という実績につながっており、周知から応募、採用まで一定の成果を上げることができた。

見学会や説明会の実施により、単なる求人情報の提供にとどまらず、実際の仕事や地域での暮らしを具体的にイメージしてもらい機会を創出できたことも、本事業の成果である。

## 4. その他

地域全体の募集事業者も含めた採用支援の結果、問い合わせ総数は27名となり、11件の内定、9名の内定者につながった。なお、1名で2か所の内定を得た事例があった。

また、応募者の80%以上が20代～40代の若手層であり、今後の地域を支える世代に対して東栄町で働くことの魅力を届けることができた。さらに、町外からの問い合わせも多く、地域外の人材に対しても東栄町の仕事や暮らしへの関心を喚起することができた。

こうした成果は、本事業の取組が地域全体の人材確保に波及していることを示すものといえる。

また、今後の展開として、問い合わせの半数近くが「移住したい」「二拠点生活がしたい」「週に1～2日であれば地域内で働きながら暮らしたい」といった問い合わせで合ったことから、働き方改革などの社会背景も含めた過疎地域へのニーズの高まりが感じられた。

一方で、そういった人材を確保するための賃貸物件が無いことが地域課題となった。このことから、今年度事業を受注した担当者が自らの事業として、2026年4月に奥三河初の女性専用シェアハウス「つばめハウス」をオープンすることが決定した。

働き方の多様化に合わせ、暮らしの形も地域内で選択肢が増えることにより、今後の医療と福祉の人材確保もよりスムーズに促進することを期待する。